

北本市第一期障害児福祉計画策定のためのアンケート調査結果報告 速報値

【調査概要】

1 調査目的

北本市第五期障害福祉計画及び第一期障害児福祉計画の策定の基礎資料とするため、障害児通所支援及び障害福祉サービスの利用者を対象としたアンケート調査を実施。

2 調査対象

障害児通所支給決定者 102名

障害福祉サービス支給決定者 5名

(平成29年8月1日(火)時点)

3 調査時期

平成29年8月5日(土) ～ 8月21日(月)

4 調査方法

全対象者に対し、郵送配布・郵送回収により調査を実施した。

5 回収状況

対象者	有効回収数	有効回収率
107	58	54.2%

6 調査項目

中項目	小項目	問
基本的な属性	調査票記入者	問1
	性別・年齢	問2
	同居者	問3
障がいの状況	身体障害者手帳等級	問4
	身体障害の種類	
	療育手帳等級	
	精神障害者保健福祉手帳等級	
	自立支援医療受給者証(精神通院)	
	医師から診断を受けているもの	
	障害福祉サービス等の障害児支援区分	
	あてはまるものがない(自由回答)	
	コミュニケーション能力の程度	問5
疾患の種類について	問6	

介助・援助の状況	主な介助・援助者	問 7
外出や社会参加の状況	外出の頻度	問 8
	外出するときの支援の必要性	問 9
	社会参加の状況	問 1 0
	今後の社会参加の希望	問 1 1
	社会参加するときの支援の必要性	問 1 2
医療や健康管理の状況	医療的ケアの状況	問 1 3
	医療的ケアの程度	問 1 4
	健康管理や医療についての支援の必要性	問 1 5
日中の過ごし方	日中の過ごし方	問 1 6
	幼稚園等の利用状況	問 1 7
	幼稚園等での支援の必要性	問 1 8
	学校教育に望むこと	問 1 9
相談や情報入手について	障がい福祉サービスなどの情報の入手先	問 2 0
福祉サービス等について	児童発達支援の利用状況と利用希望	問 2 1
	医療型児童発達支援 //	
	居宅訪問型児童発達支援の利用希望	
	放課後等デイサービスの利用状況と利用希望	
	保育所等訪問支援 //	
	短期入所 //	
	障害児相談支援 //	
	福祉型障害児入所支援 //	
	医療型障害児入所支援 //	
その他の福祉サービス //		
差別などについて	差別や人権侵害の状況	問 2 2
	具体的な内容（自由回答）	問 2 3
	成年後見制度を知っているか	問 2 4
	今後の成年後見制度の活用希望	問 2 5
将来の希望等について	今後、希望する日中の過ごし方	問 2 6
	近い将来、希望する暮らし方	問 2 7
行政への要望等	意見・要望等（自由回答）	—

【調査結果】

1 基本的な属性

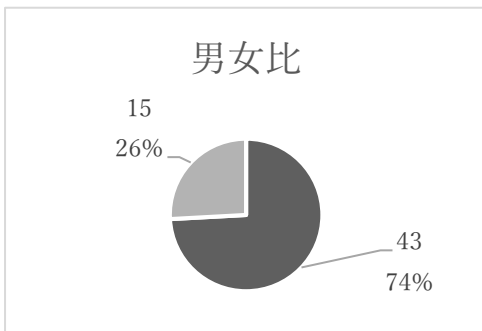
問1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

「母」が89.7%、「父」が6.9%、「両親以外の家族」と「その他の方」がそれぞれ1.7%である。

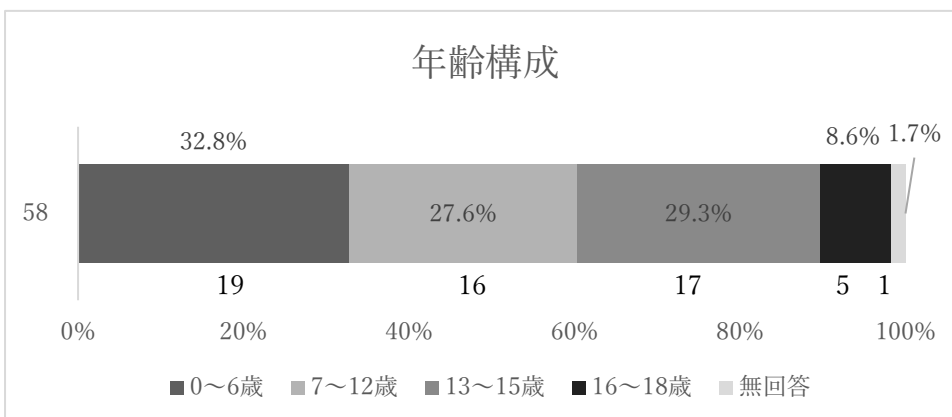
項目	回答数	構成比
母	52	89.7%
父	4	6.9%
両親以外の家族	1	1.7%
その他の方	1	1.7%
合計	58	100.0%

問2 お子さんの性別と年齢（8月1日現在）をおこたえください。（○は1つ）

男の子が74.1%、女の子が25.9%である。



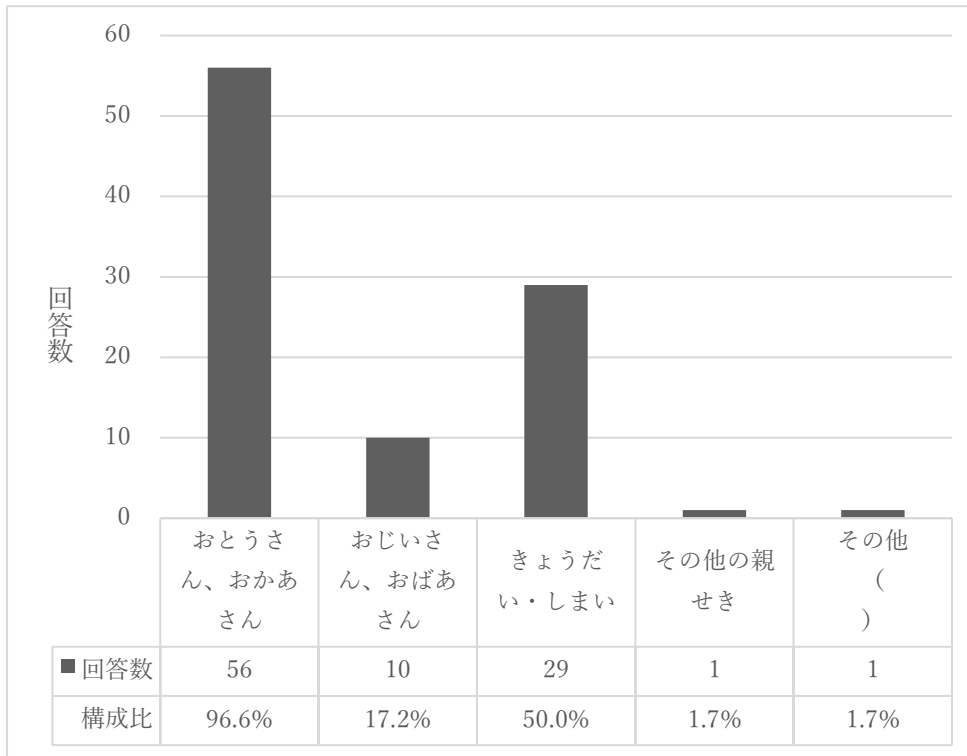
また、年齢では「0～6歳」が32.8%、「7～12歳」が27.6%、「13～15歳」が29.3%、「16～18歳」が8.6%である。



問3 お子さんはどなたといっしょに暮らしていますか。(〇はいくつでも)

「おとうさん、おかあさん」と暮らしているが96.6%で最も多く、次いで「きょうだい、しまい」が50.0%、「おじいさん、おばあさん」が17.2%、「その他親せき」と「その他」がそれぞれ1.7%である。

n=58

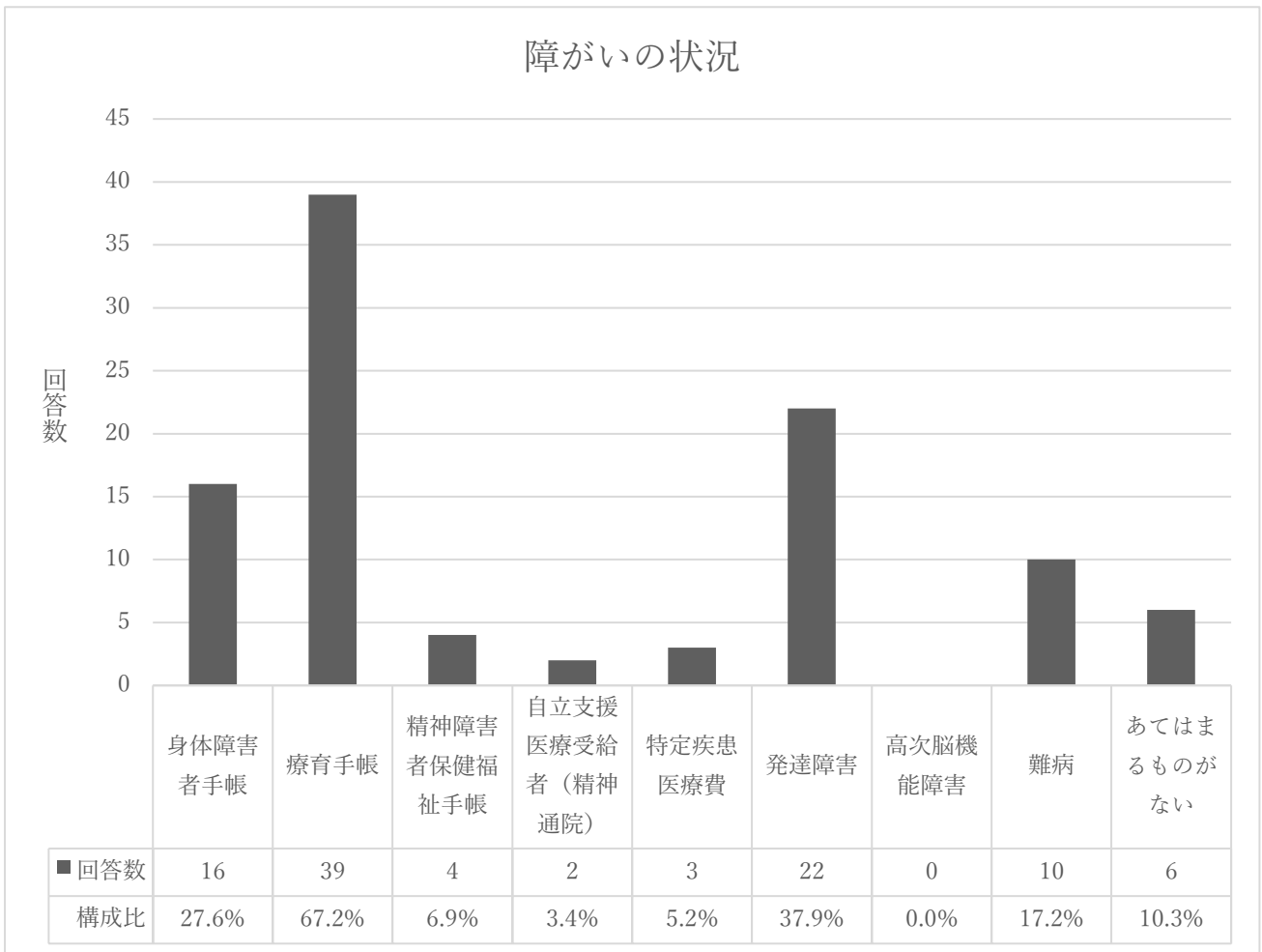


2 障がいの状況

問4 お子さんは、障がい者に関する手帳又は受給者証をお持ちですか。また、医師から診断を受けているもの、障害福祉サービス等の障害児支援区分で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

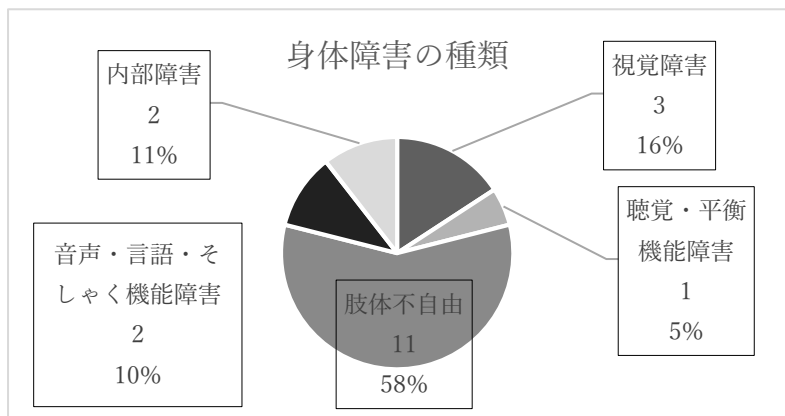
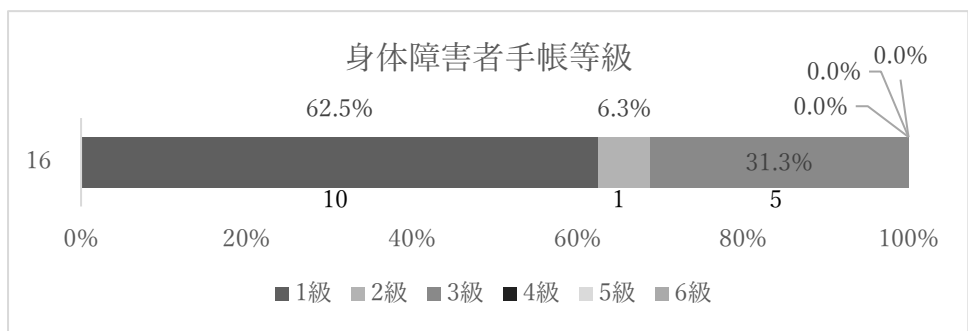
手帳所持者では、「療育手帳」の所持者が全体の67.2%と多く、次いで「身体障害者手帳」が27.6%、「精神障害者保健福祉手帳」が6.9%である。また、それ以外の状況では、「発達障害の診断を受けているもの」が37.9%、「難病」が17.2%、発達支援会議などにより療育の必要性が認められたものを含む「あてはまるものがない」が10.3%である（重複あり）。

n = 58

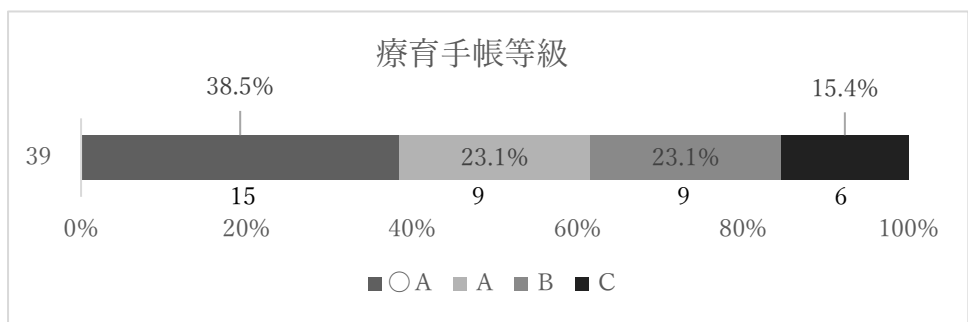


<p>「発達障害」内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自閉症 ・ 言語発達遅延 ・ 広汎性発達障害 ・ 自閉症スペクトラム障害 ・ アスペルガー、ADHD疑い 	<p>「難病」内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筋ジストロフィー ・ 結節性硬化症 ・ ダウン症候群 ・ 腎不全 ・ ソトス症候群 	<p>「あてはまるものがない」内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ てんかん ・ 知的障害の疑い ・ 発達支援会議
--	---	---

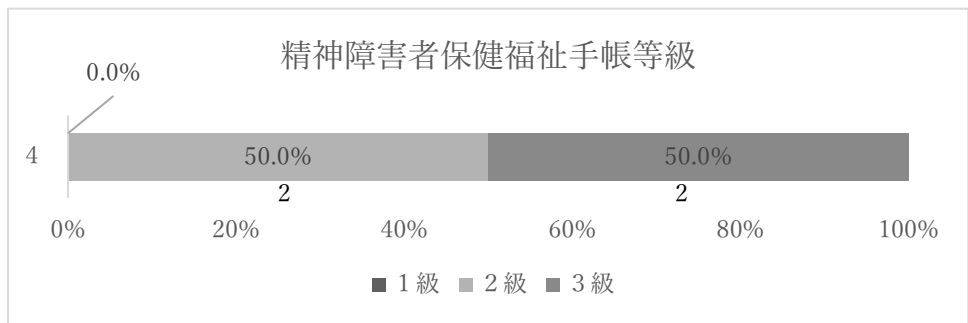
身体障害者手帳等級の内訳は「1級」が62.5%、「2級」が6.3%、「3級」が31.3%となっている。障害の種類としては、「肢体不自由」が58%で過半数を超えており、次いで「視覚障害」が16%、内部障害が「11%」の順である。



療育手帳の等級は、「OA」が38.5%、「A」が23.1%、「B」が23.1%、「C」が15.4%である。



精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」と「3級」が50.0%となっている。

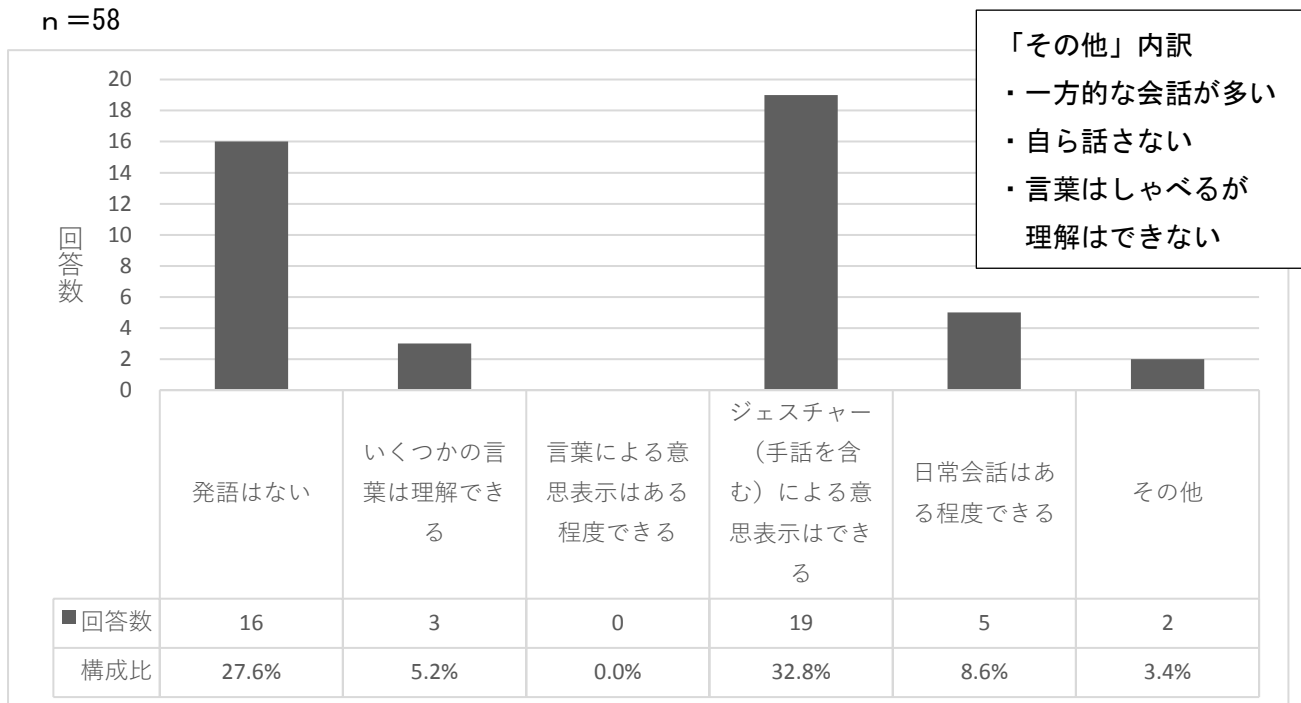


※ 障害児支援区分については有効回答数3件のみのため省略。

問5 コミュニケーション能力の程度をお答えください。(〇はいくつでも)

コミュニケーション能力の程度としては、「ジェスチャー（手話を含む）による意思表示はできる」が32.8%で最も多く、次いで「発語はない」が27.6%、「日常会話はある程度できる」は8.6%である。

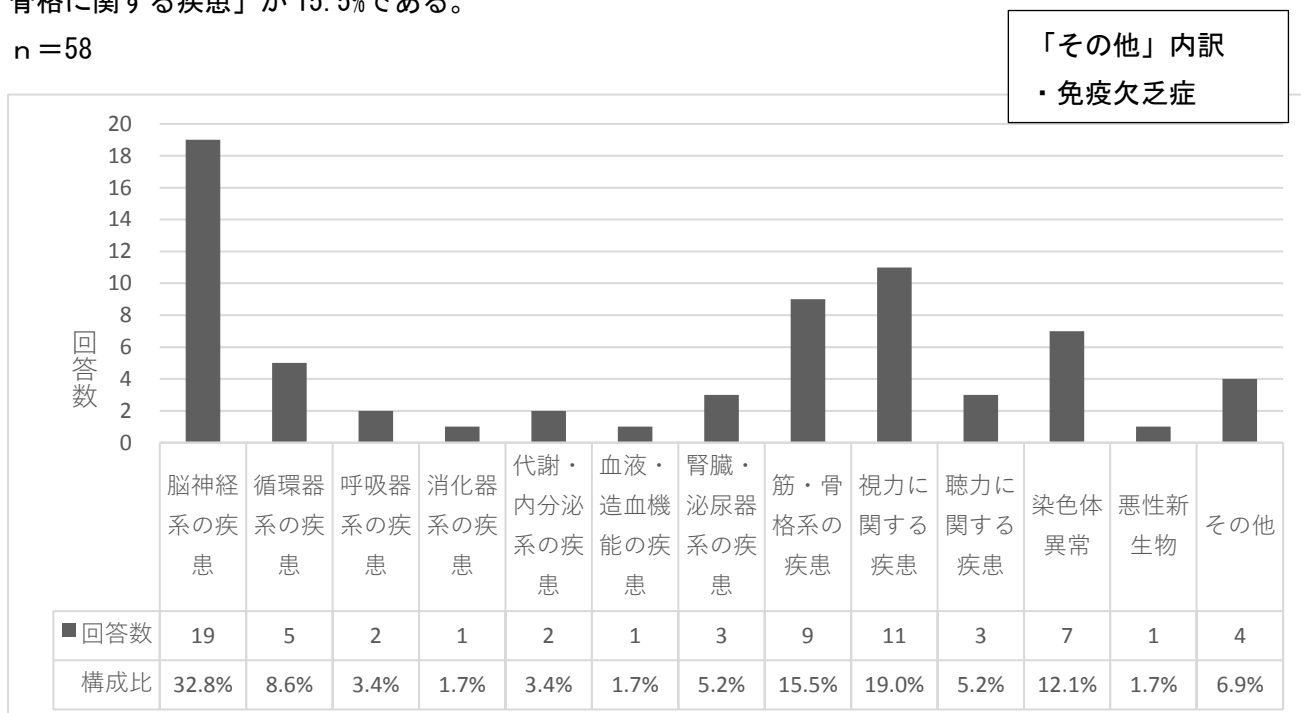
n = 58



問6 疾患の種類についてお答えください。(〇はいくつでも)

疾患の種類については、「脳神経の疾患」が32.8%と最も多く、次いで「視力に関する疾患」19.0%、「筋・骨格に関する疾患」が15.5%である。

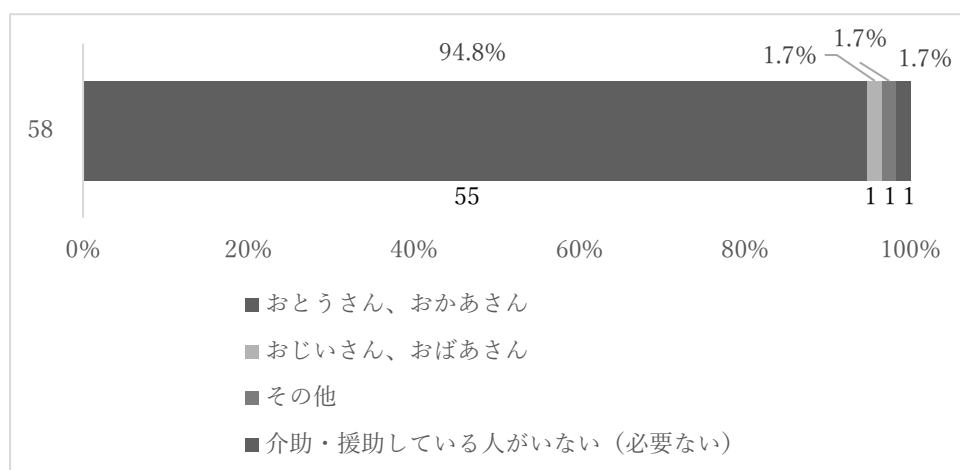
n = 58



3 介助・援助の状況

問7 ふだん、お子さんを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

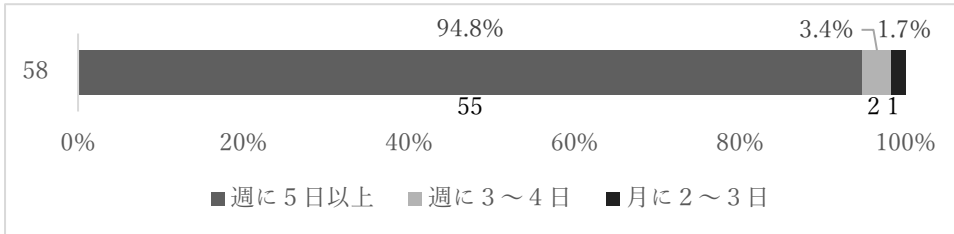
主な介助者は、「おとうさん、おかあさん」が94.8%で最も多く、「おじいさん、おばあさん」「その他」「必要ない」がそれぞれ1.7%である。



4 外出や社会参加の状況

問8 お子さんは、どのくらい外出しますか。通園、通学、買い物、日常の散歩など、すべてを含めておこたえください。(〇は1つ)

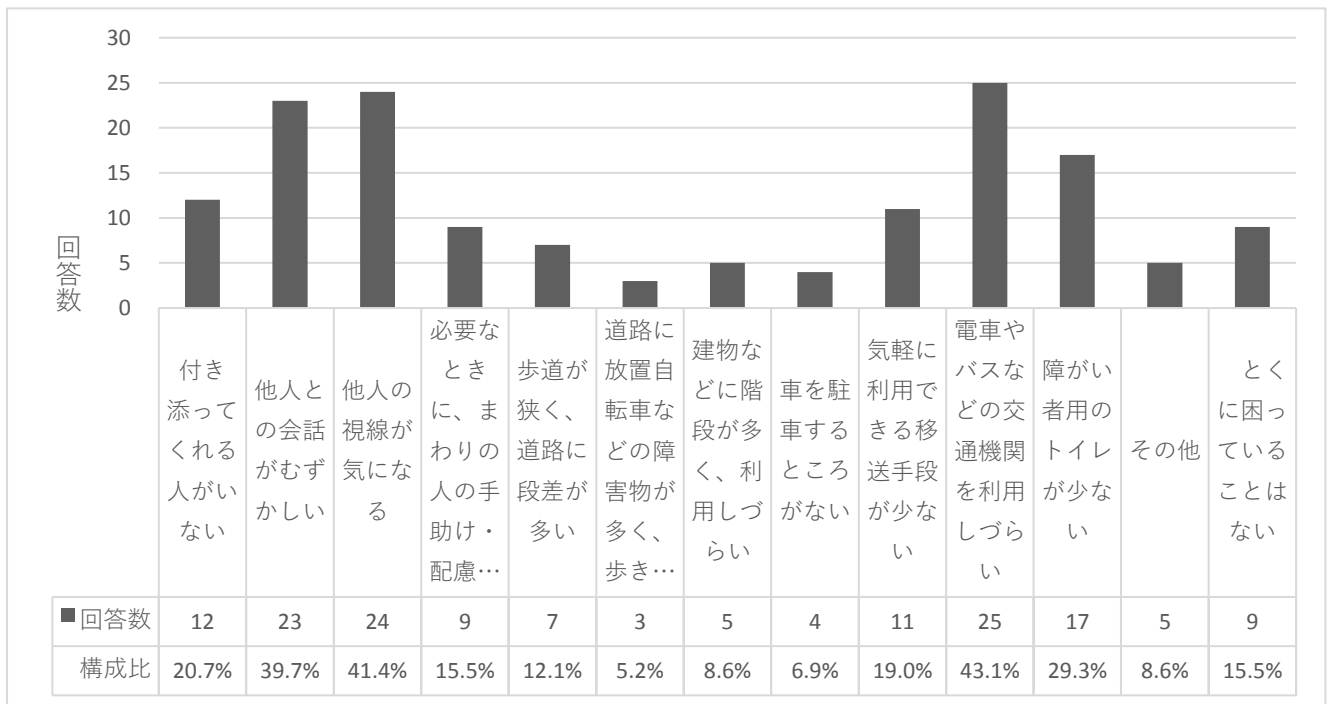
外出状況は、「週に5日以上」が94.8%、「週に3～4日」が3.4%、「月に2～3日」が1.7%である。



問9 お子さんが外出するときに困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

外出するときに困っていることは、「電車やバスなどの交通機関を利用しづらい」が43.1%最も多く、次いで「他人の視線が気になる」が41.4%、「他人との会話がむずかしい」が39.7%となっている。

n = 58



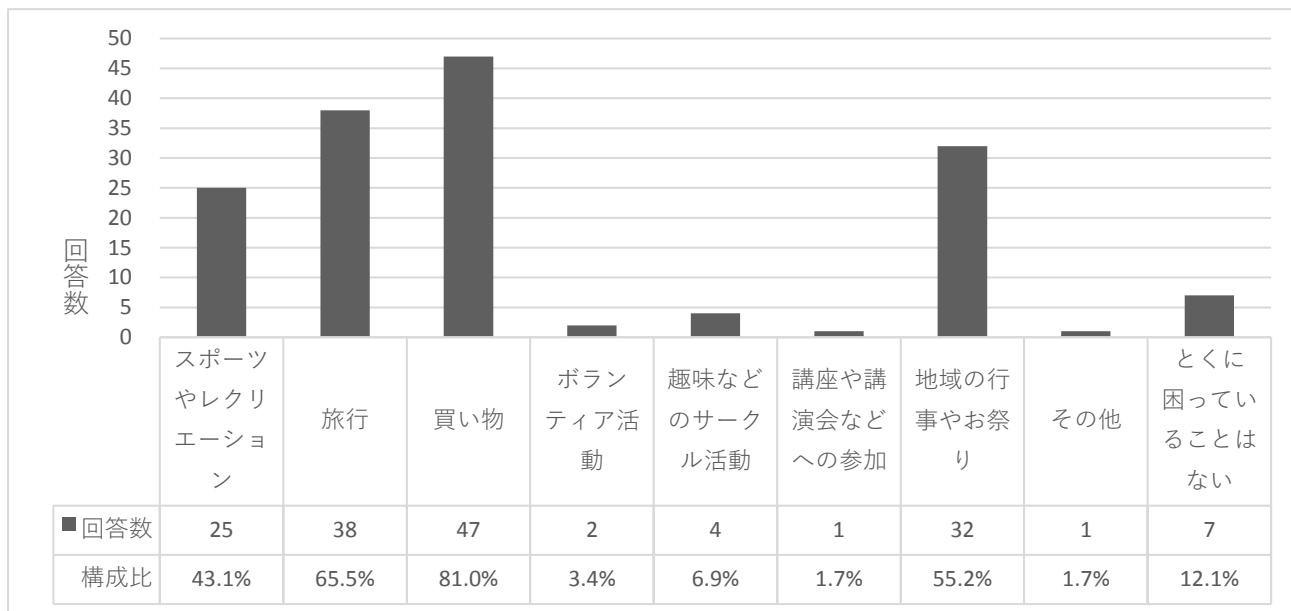
「その他」の内訳

- ・食事場所やおむつ交換のベッドがない。
- ・子どもが突発的に動くのが止められない。
- ・オムツを替えるベッドがない。
- ・多動で目が離せない。
- ・本人のこだわり。

問10 お子さんは、この1年くらいの間に、次のような活動をしましたか。(〇はいくつでも)

活動状況は「買い物」が81.0%で最も多く、次いで「旅行」が65.5%、「地域の行事やお祭り」55.2%となっている。

n = 58

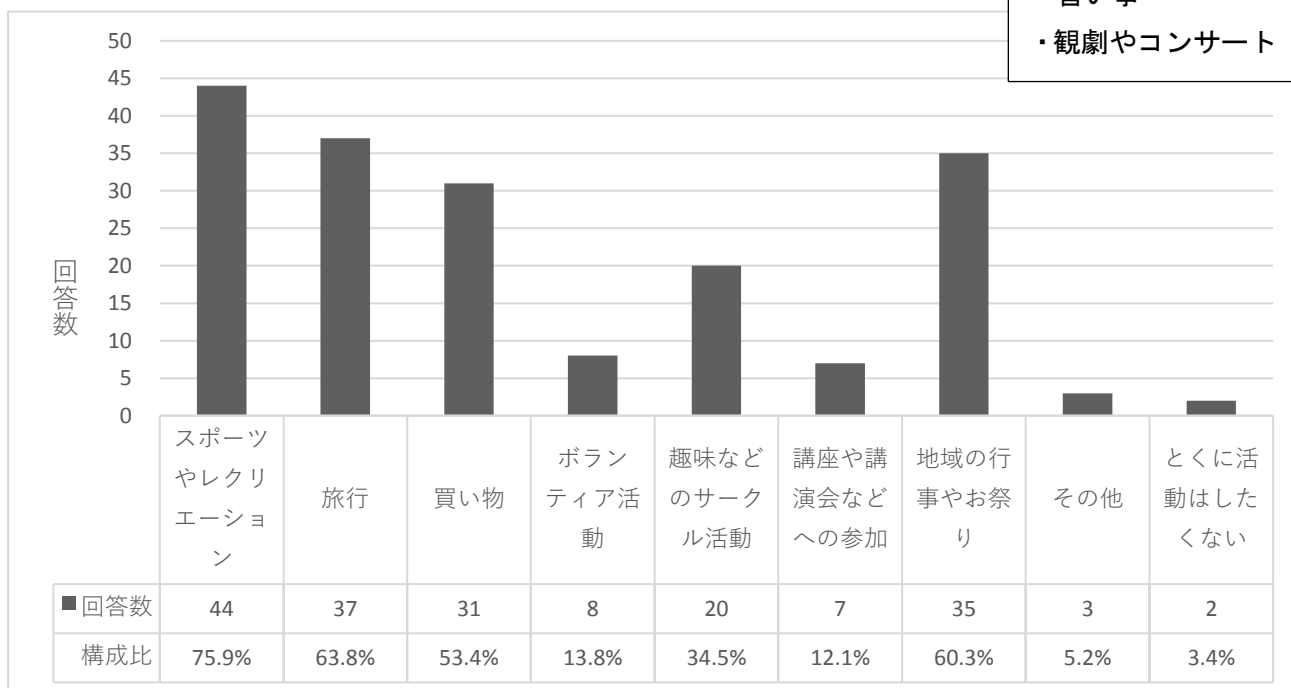


問11 これから、どのような活動をして欲しいと思いますか。(〇はいくつでも)

活動希望は、「スポーツやレクリエーション」が75.9%で最も多く、次いで「旅行」が63.8%、「地域の行事やお祭り」が60.3%となっている。

n = 58

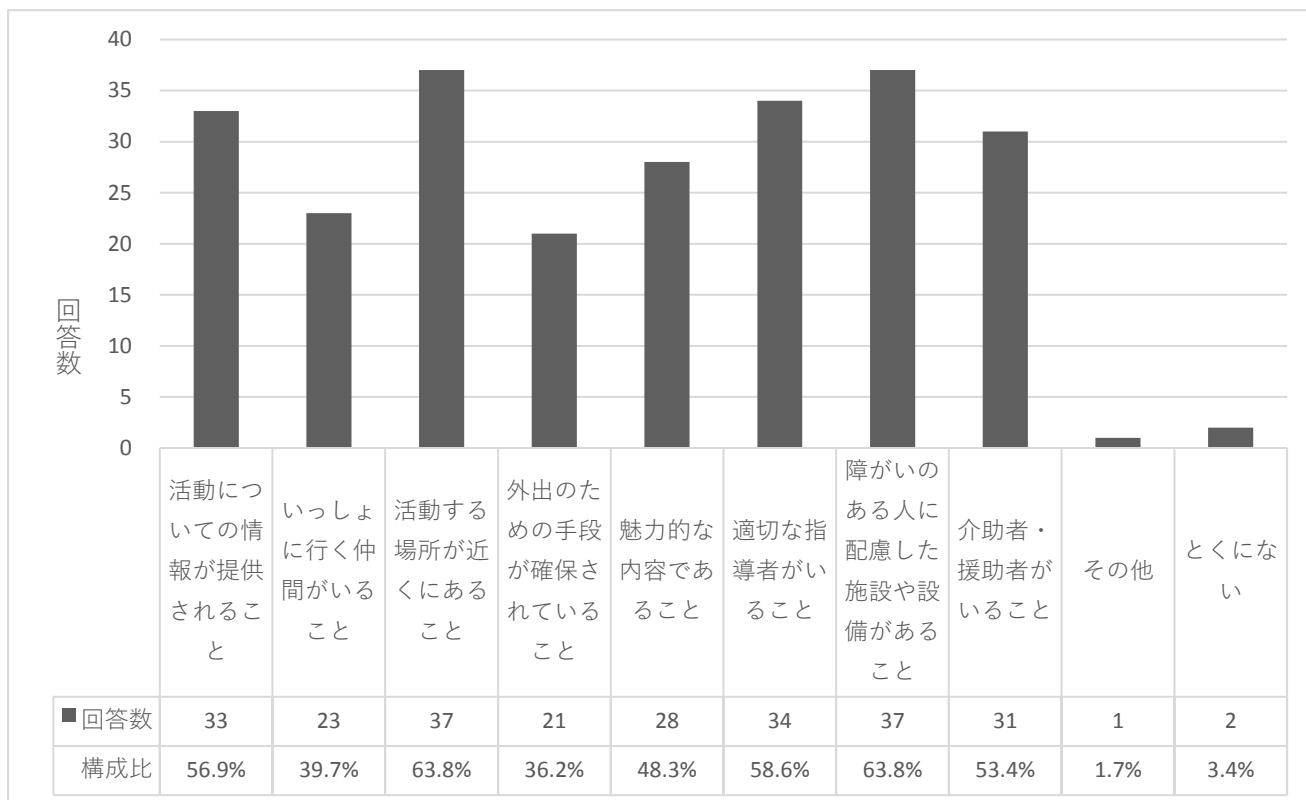
「その他」の内訳
 ・習い事
 ・観劇やコンサート



問12 問11のような活動をするためには、どのような条件が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

活動に必要な条件は、「活動する場所が近くにあること」と「障がいのある人に配慮した施設や設備があること」が63.8%で最も多く、次いで「適切な指導者がいること」58.6%、「活動についての情報が提供されること」56.9%となっている。

n = 58



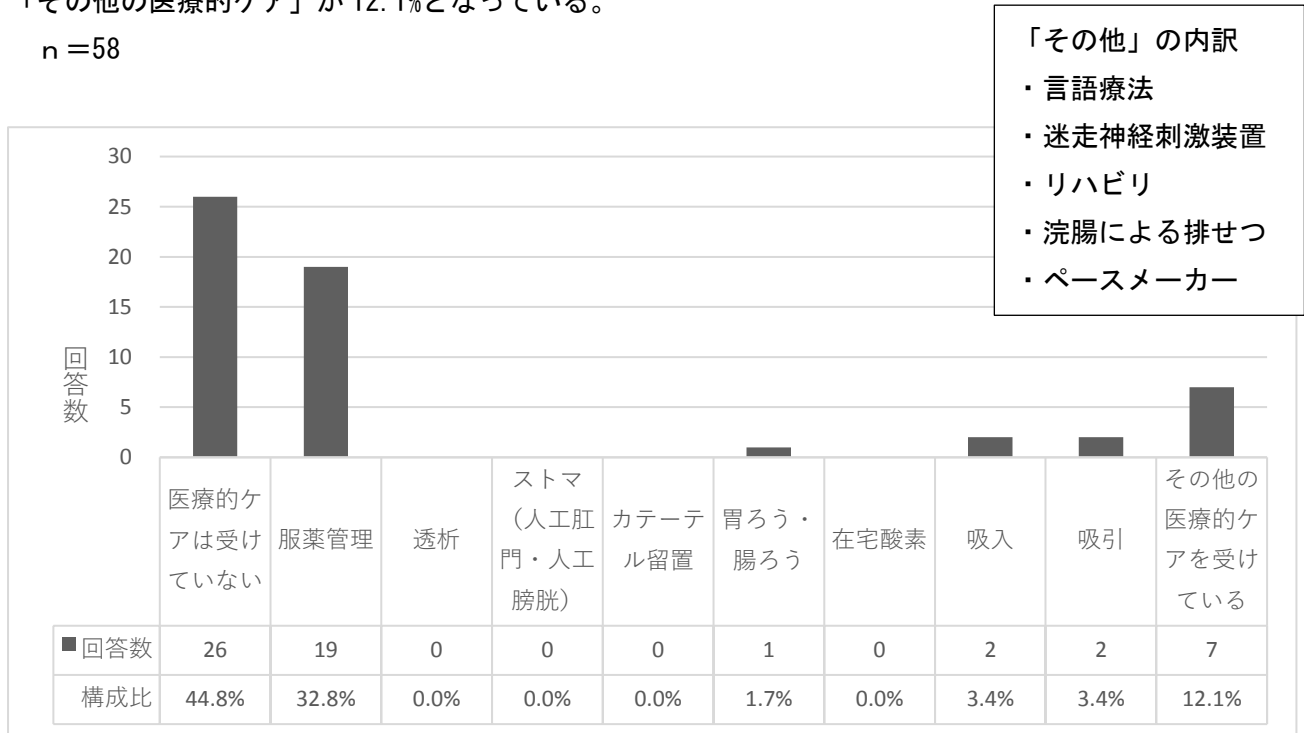
「その他」の内訳
 ・ 障害者向けの演劇やコンサートの開催

5 医療や健康管理の状況

問 13 お子さんは、現在、次のような医療的ケアを受けていますか。(○はいくつでも)

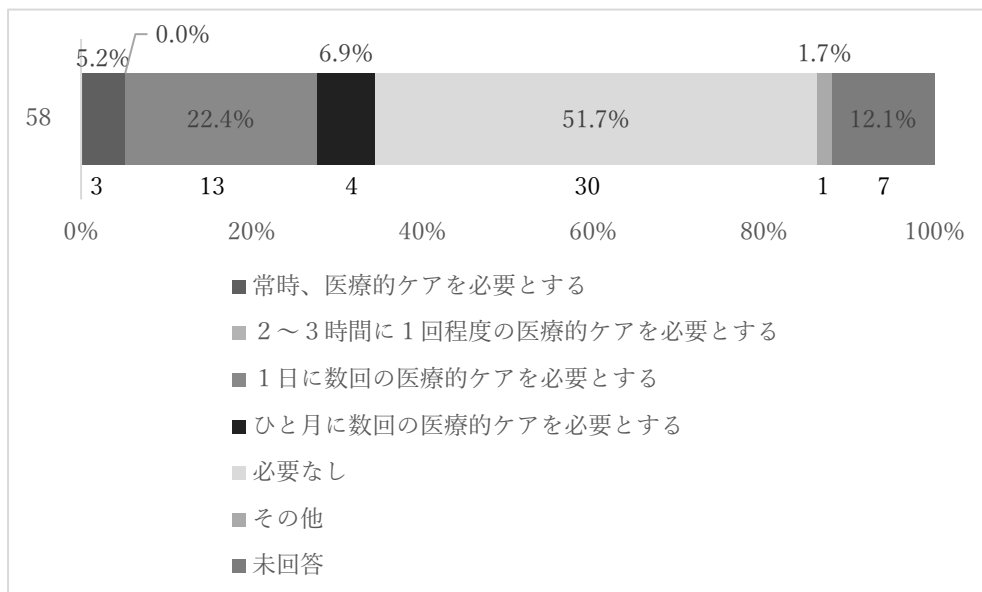
医療的ケアの状況は、「医療的ケアは受けていない」が44.8%で最も多く、次いで「服薬管理」が32.8%、「その他の医療的ケア」が12.1%となっている。

n = 58



問 14 医療的ケアを必要とする程度をお答えください。(○は1つ)

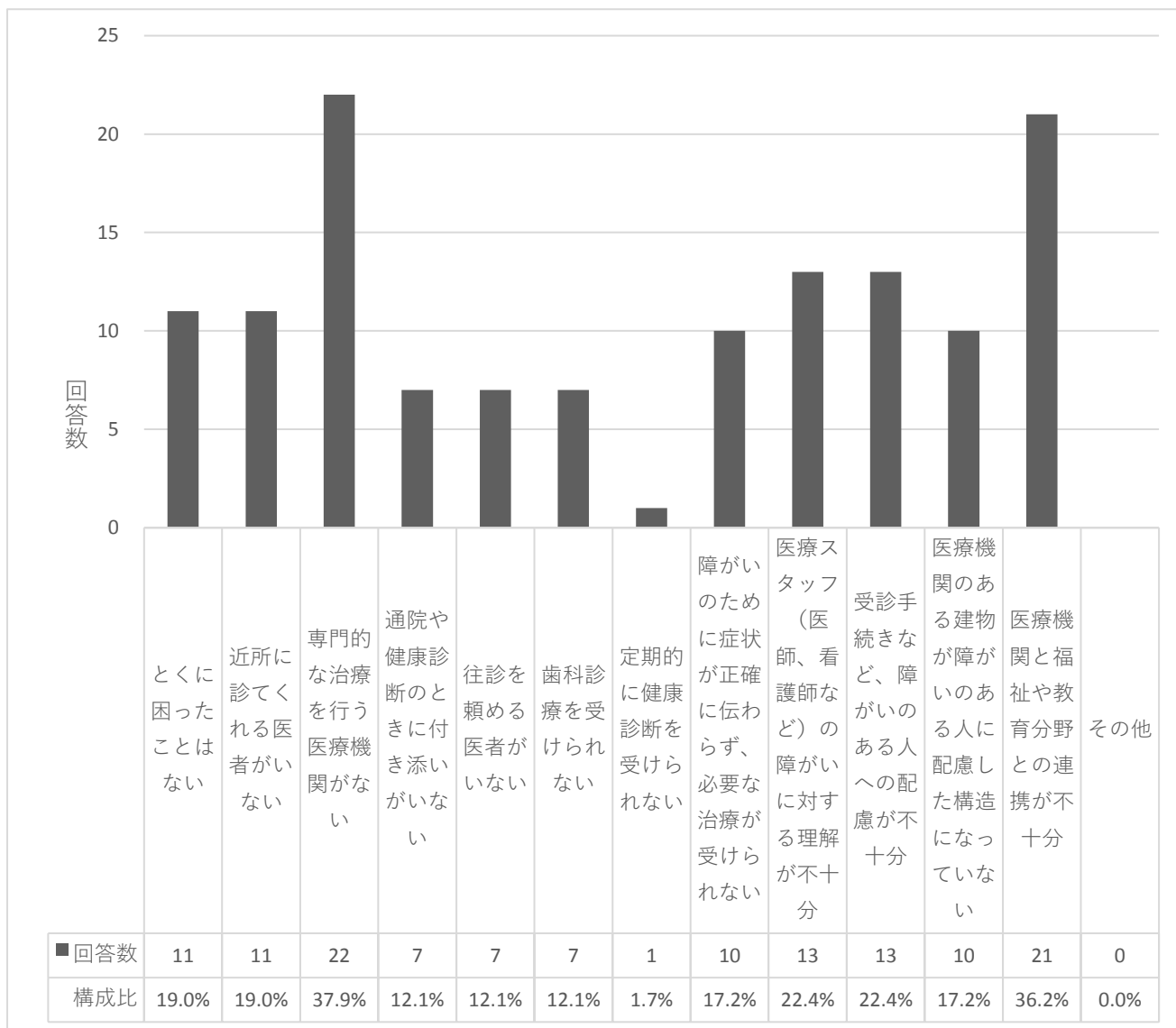
医療的ケアの程度は、「必要なし」が51.7%で最も多く、次いで「1日に数回」が22.4%、「ひと月に数回」が6.9%となっており、「未回答」が12.1%である。



問 15 健康管理や医療について、困ったり不便に思ったことがありますか。(〇はいくつでも)

医療や健康管理で困ったことは、「専門的な治療を行う医療機関がない（近くにない）」が 37.9%で最も多く、次いで「医療機関と福祉や教育分野との連携が不十分」が 36.2%、「医療スタッフ（医師、看護師など）の障がいに対する理解が不十分」と「受診手続きなど、障がいのある人への配慮が不十分」がそれぞれ 22.4%となっている。

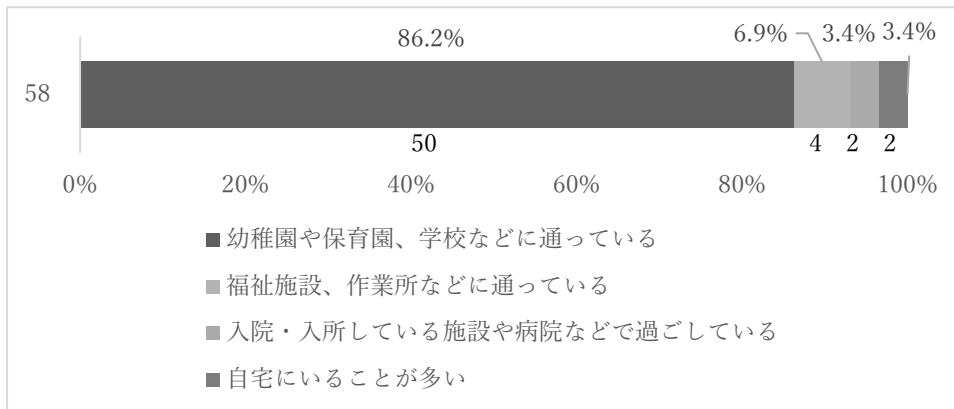
n=58



6 日中の過ごし方

問 16 お子さんが、平日（月曜日～金曜日）の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は1つ）

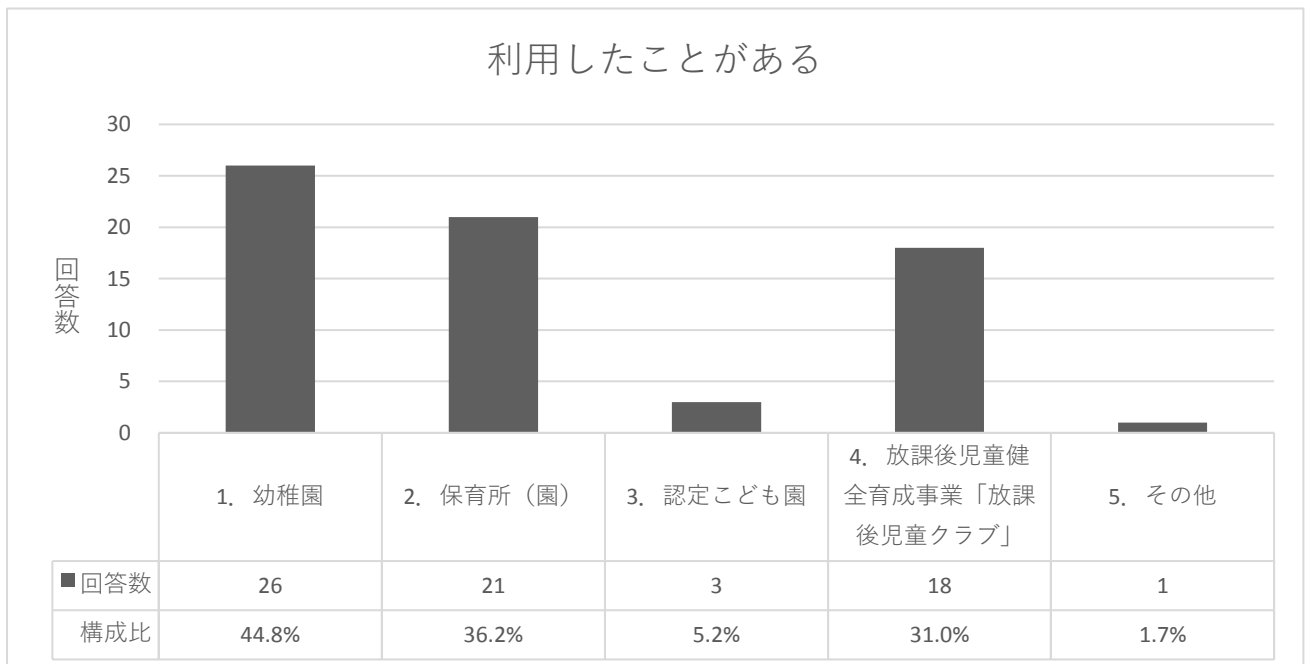
日中の過ごし方については、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」が 86.2%で最も多く、次いで「福祉施設、作業所などに通っている」が 6.9%、「入院・入所している施設や病院などで過ごしている」と「自宅にいたることが多い」がそれぞれ 3.4%である。



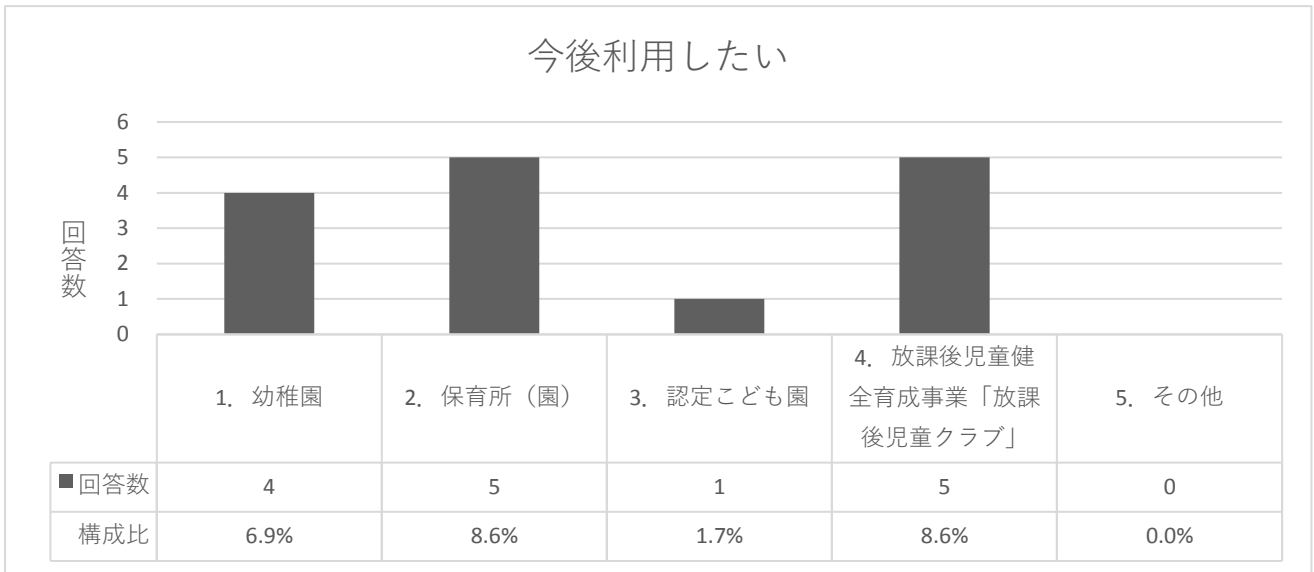
問 17 お子さんは、次のような施設を利用したこと（している）がありますか。また、今後、利用したいですか。（○はいくつでも）

n = 58

利用状況は、「幼稚園」が 44.8%で最も多く、次いで「保育所」が 36.2%、「放課後児童健全育成事業「放課後児童クラブ」」が 31.0%となっている。



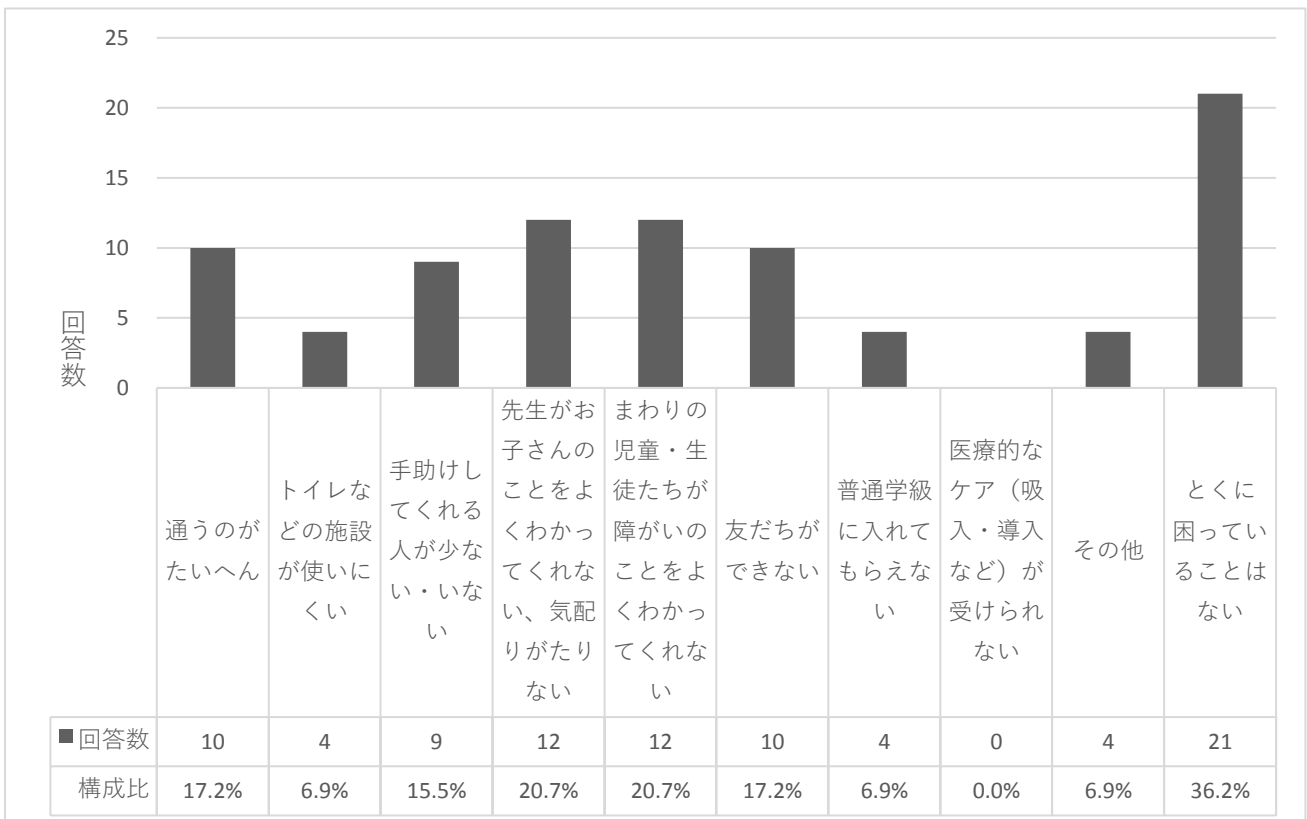
利用希望については、「保育所」と「放課後児童クラブ」が8.6%が最も多く、「幼稚園」が6.9%、「認定こども園」が1.7%である。



問 18 幼稚園や保育園、学校などに通っていて困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

学校等で困っていることは、「とくに困っていることがない」が36.2%で最も多く、次いで「先生がお子さんのことをよくわかってくれない、気配りがたりない」と「まわりの児童・生徒たちが障がいのことをよくわかってくれない」がそれぞれ20.7%となっている。

n = 58



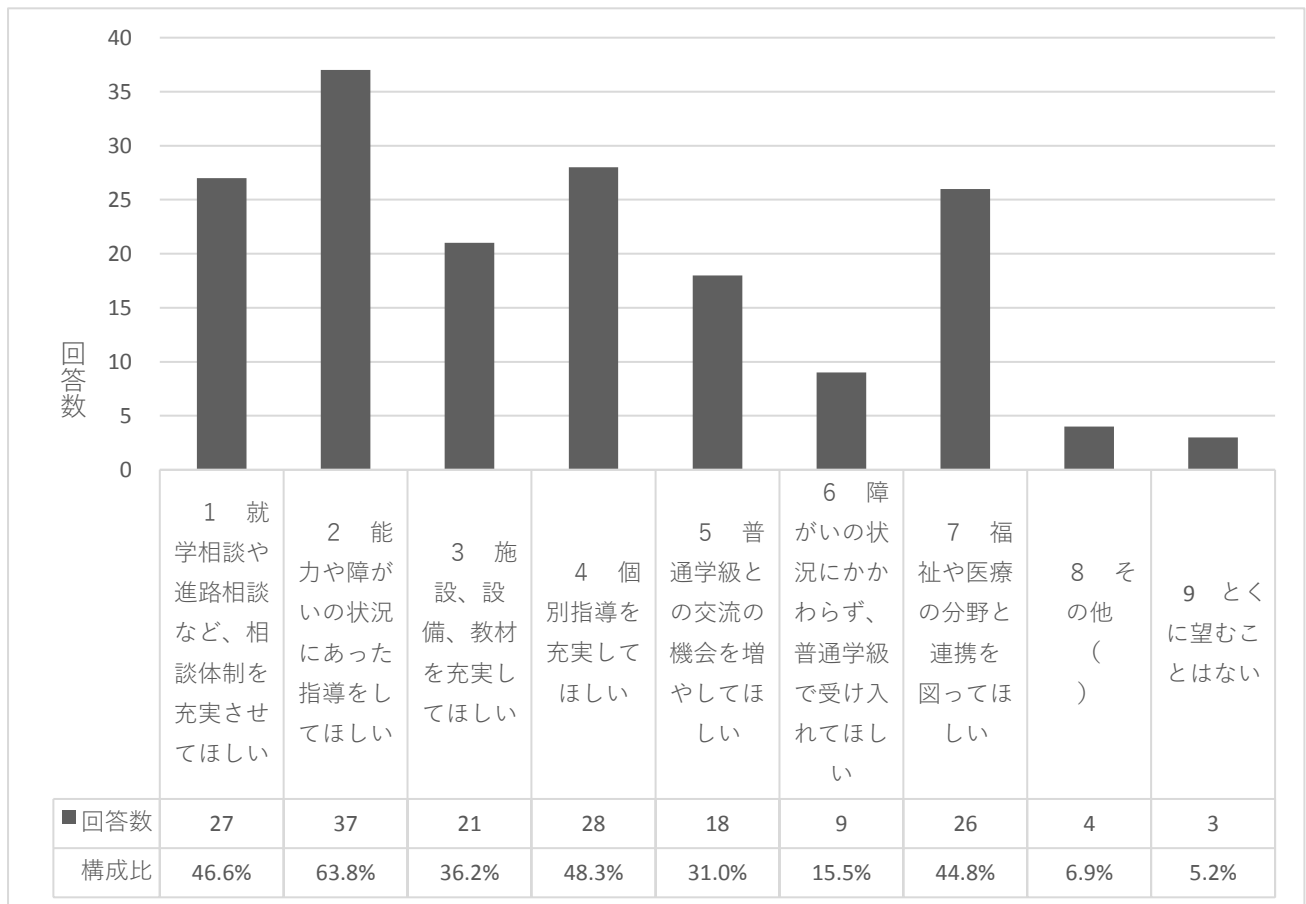
「その他」の内訳

- ・受け入れ先がない
- ・保育所で短時間保育しか利用できなかった
- ・近くに学校がない
- ・学区外のため親が送迎していること

問 19 学校教育に望むことはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

学校教育に望むことは、「能力や障がいの状況にあった指導をしてほしい」が 63.8%で最も多く、次いで「個別指導を充実してほしい」が 48.3%、「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させてほしい」が 46.6%となっている。

n = 58



「その他」の内訳

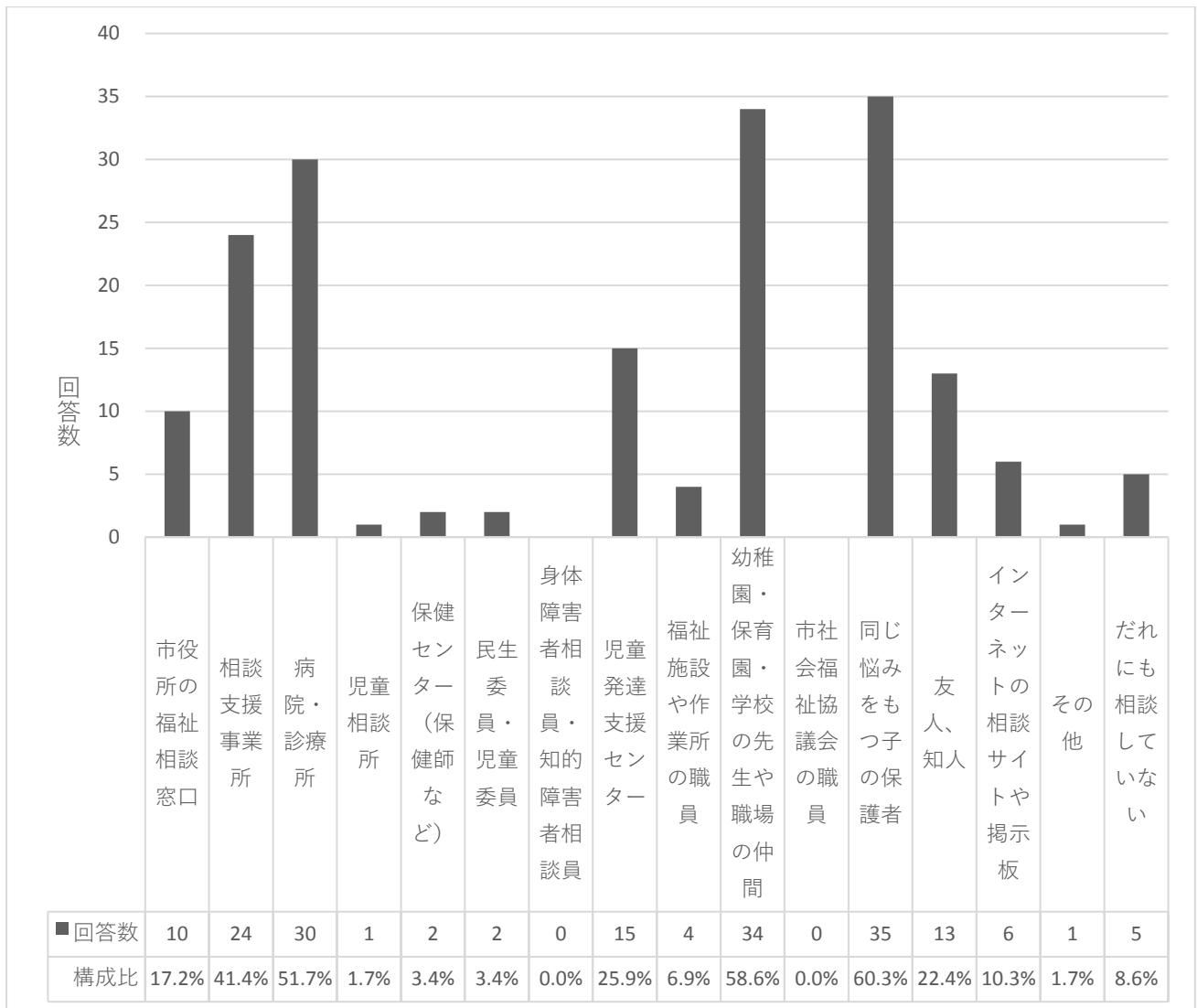
- ・専門員を配置してほしい
- ・支援学級を指導する先生の育成が追いついていない
- ・近くに支援学校がほしい
- ・知的と情緒障害で指導方法を区別してほしい

7 相談や情報の入手について

問 20 お子さんのことで悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(〇はいくつでも)

相談先は、「同じ悩みをもつ子の保護者」が 60.3%と最も多く、次いで「幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間」が 58.6%、「病院・診療所」51.7%となっている。

n = 58



「その他」の内訳

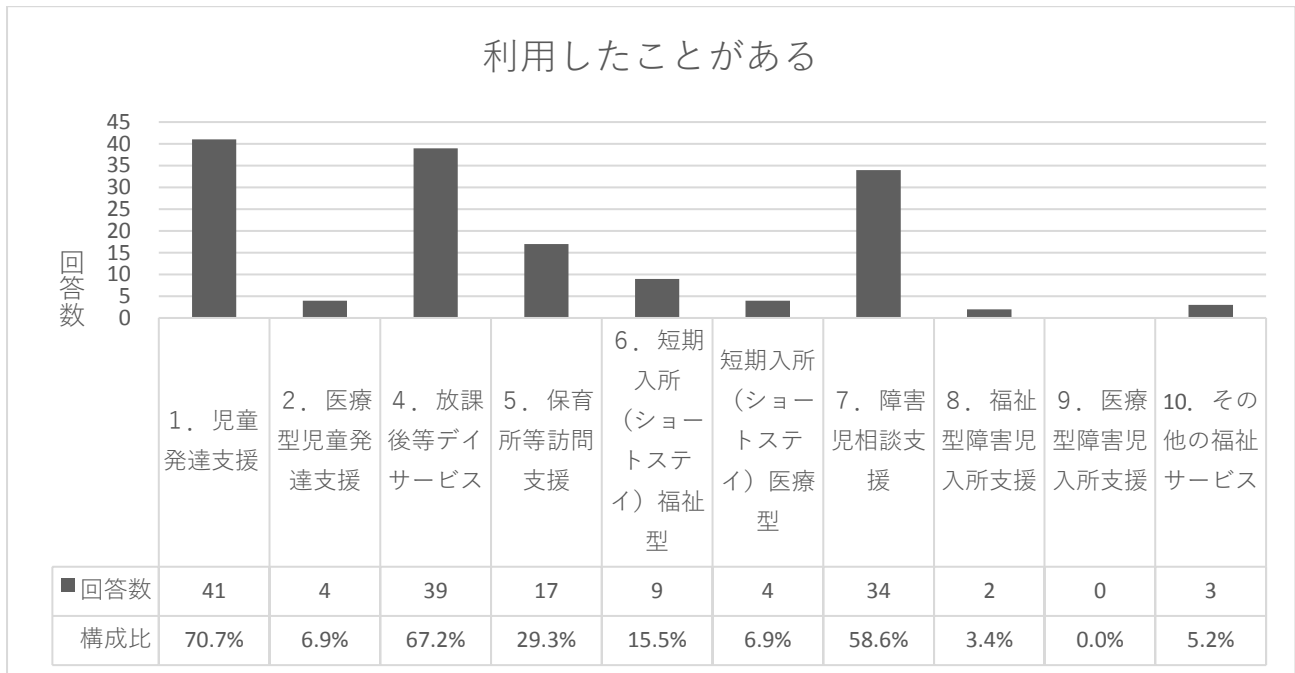
・女性相談窓口

8 福祉サービス等について

問 21 お子さまは、次のような福祉サービスを利用したこと(している)がありますか。また、今後、利用させたいですか。該当項目は、利用頻度もお答えください。

n = 58

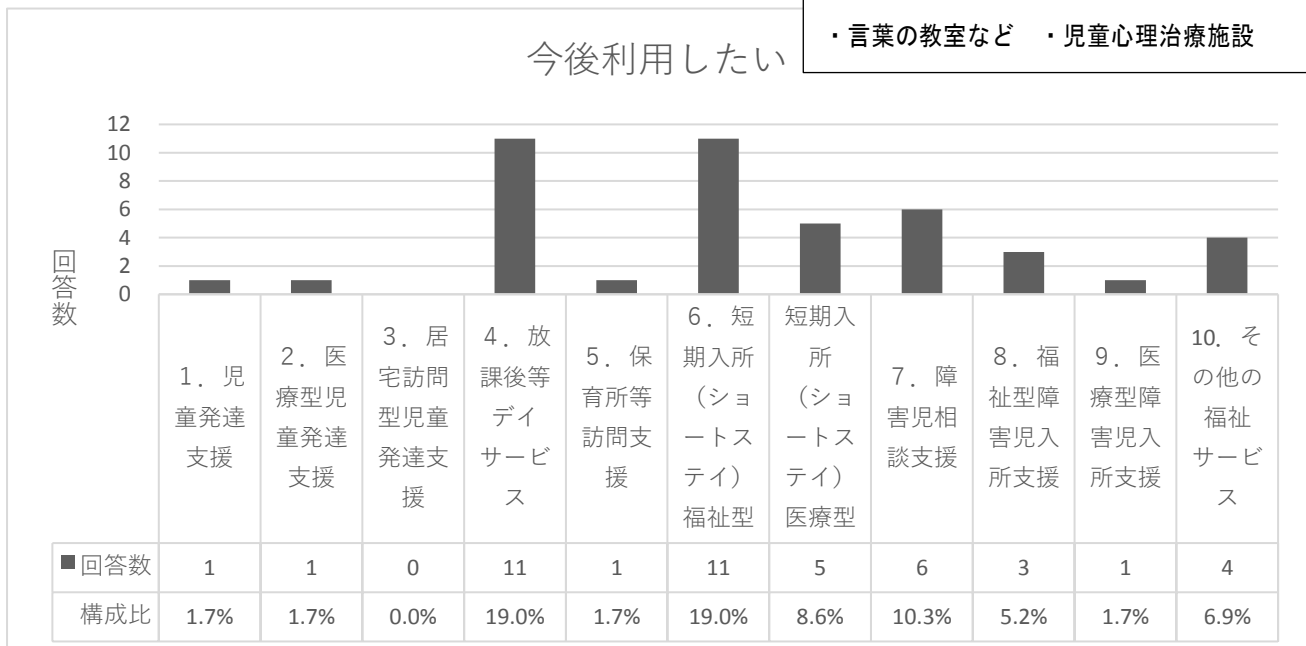
福祉サービスの利用状況は、「児童発達支援」が 70.7%で最も多く、次いで「放課後等デイサービス」67.2%、「保育所等訪問支援」が 29.3%となっている。



福祉サービスの利用希望は、「放課後等デイサービス」と「短期入所(福祉型)」が 19.0%と最も希望が多く、次いで「短期入所(医療型)」が 8.6%となっている。

「その他」の内訳

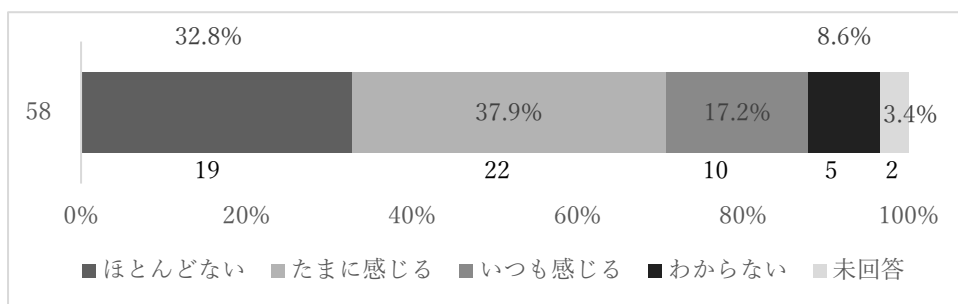
- ・行動援護
- ・生活サポート、移動支援事業
- ・言葉の教室など
- ・児童心理治療施設



8 差別などについて

問 22 障がいがあることで、差別や人権侵害を受けていると感じることはありますか。(○は1つ)

差別や人権侵害を感じたことがあるという状況は、「ほとんどない」が32.8%、「たまに感じる」が37.9%、「いつも感じる」が17.2%、「わからない」が8.6%、「未回答」が3.4%である。



問 23 具体的には、どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じますか。(自由記入)

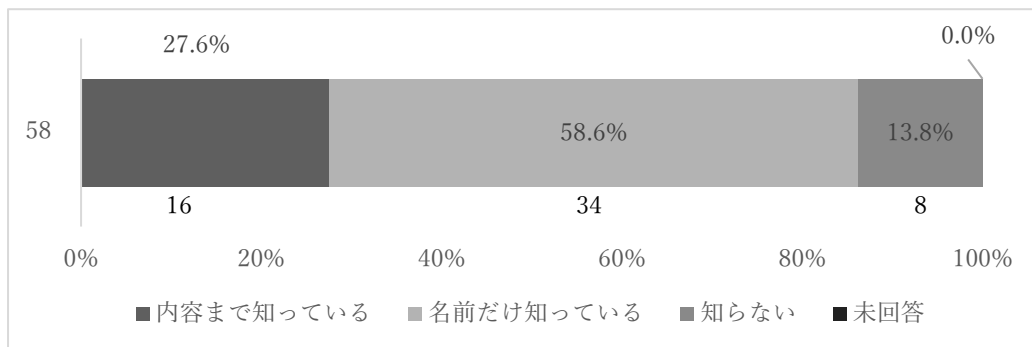
※要約して抜粋

回答内訳

- ・小さい子に避けられた。過剰に反応された
- ・大きな声で騒いだ時に周囲の人に注目される。医療機関での対応。
- ・入園や学校入学などの教育面
- ・確定診断がないのに自閉症だと決めつけられる発言をされる
- ・先生などの教育者の言動
- ・難病であるため保育所等の受け入れに時間がかかった
- ・バスに乗った時などに小さな声で「バカ」などと言われた。
- ・公立の保育所の短時間保育でしか受け入れてもらえなかったこと。
- ・奇異な目で見られる。
- ・幼稚園で短時間保育しか利用できなかった。
- ・保育所で短時間保育しか利用できなかった。
- ・保育所で入所や利用等に制限があった。
- ・大きな声を出したときに見られる。 ・兄弟で同じ幼稚園・保育所に入れない。
- ・保育所の入所手続きや説明時の対応。 ・危害を加えたわけでもないのに注意された。
- ・地域の行事に参加できない。ファミレス等の利用を断られる。
- ・通学手段のない学校への入学が難しい
- ・いじめを学校でうまく対応できず、不登校になったことがある。
- ・障害児の世話のため地域の人とのコミュニケーションが取れない
- ・同年代の人から何か言われる。 ・病院での対応が悪かった
- ・距離をおかれる。 ・保育所入所や低年齢での療育が利用できないこと。

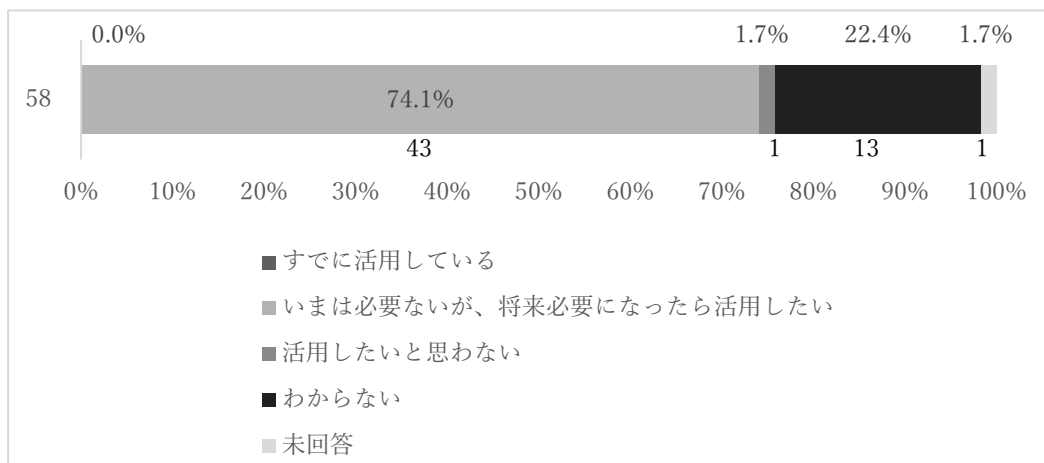
問 24 成年後見制度とは、知的障がいや精神障がいなどの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(〇は1つ)

成年後見制度の認知は、「内容まで知っている」が 27.6%、「名前だけ知っている」が 58.6%、「知らない」が 13.8%であった。



問 25 将来、お子さんに対して、成年後見制度を活用したいと思いますか。(〇は1つ)

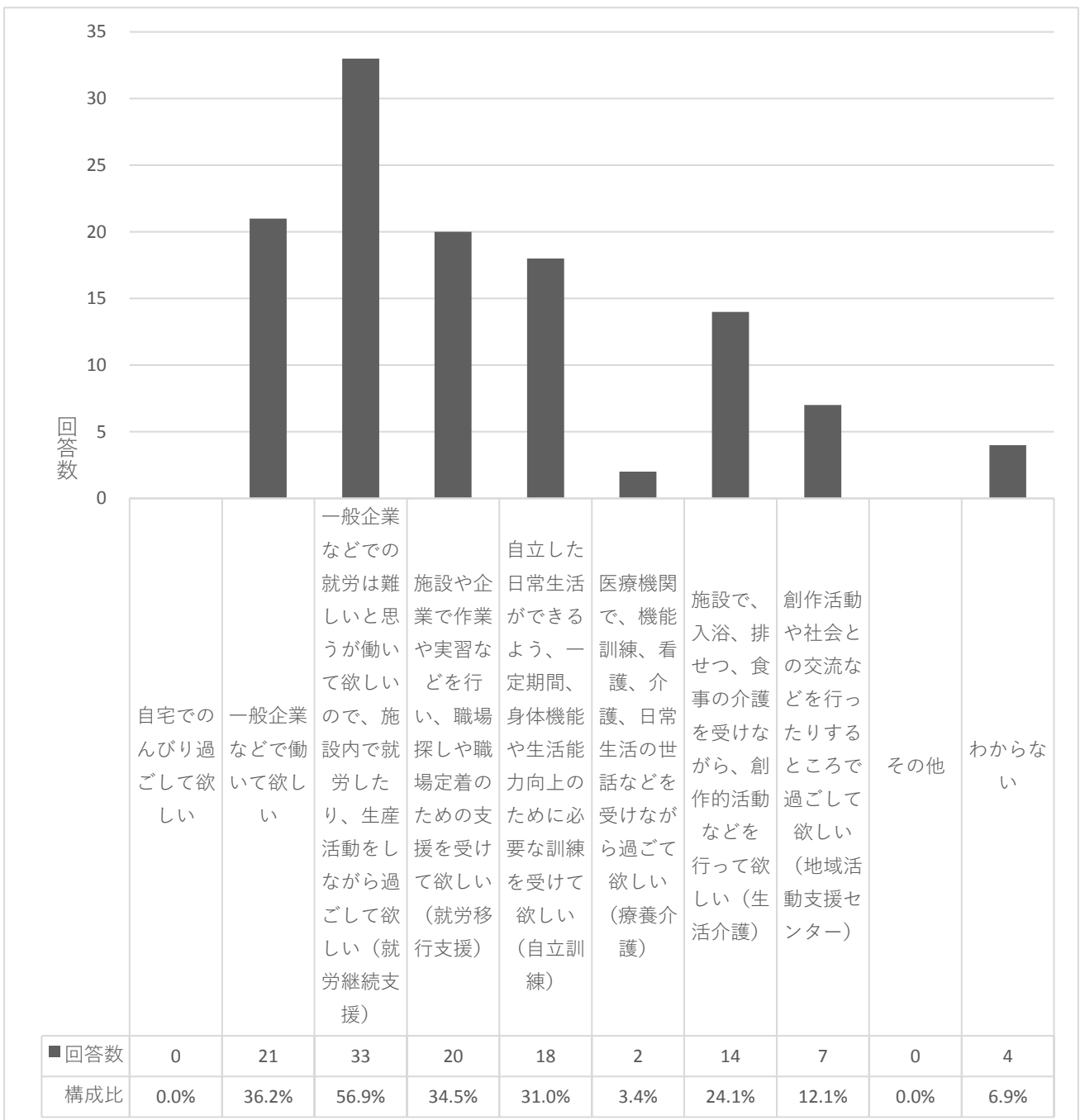
成年後見制度の活用希望は、「いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい」が 74.1%、「活用したいと思わない」「未回答」がそれぞれ 1.7%、「わからない」が 22.4%となっている。



10 将来の希望等について

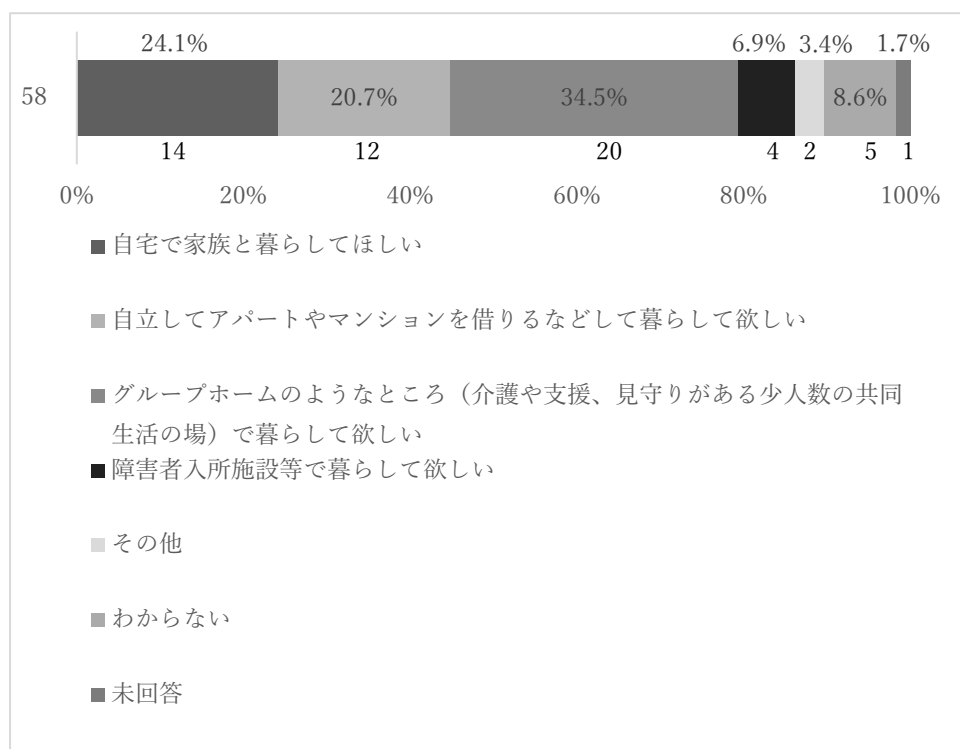
問 26 将来的（高等学校や特別支援学校の卒業後を想定）にお子さんにはどのように日中を過ごして欲しいと思いますか。（〇はいくつでも）

将来の日中活動の場の希望は、「一般企業などでの就労は難しいと思うが働いて欲しいので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごして欲しい（就労継続支援）」が 56.9%で最も多く、次いで「一般企業などで働いて欲しい」が 36.2%、「施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けて欲しい（就労移行支援）」が 34.5%となっている。



問 27 将来的にお子さんにはどのように暮らして欲しいですか。(〇は1つ)

将来的な生活の場の希望は、「グループホームのようなところで暮らして欲しい」が34.5%、「自宅で家族と暮らしてほしい」が24.1%、「自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らして欲しい」が20.7%、「障害者入所施設等で暮らして欲しい」が6.9%、「わからない」が8.6%、「その他」が3.4%、「未回答」が1.7%となっている。



「その他」の内訳

自宅で家族と暮らし、家族が介護できない状態になったら施設で暮らして欲しい。
親亡き後に安心して生活できる場所

10 行政への要望等

最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。(自由記入)

※意見や要望のみを要約して抜粋

- ・障害者の高校卒業後の居場所をつくってほしい。
- ・障害者駐車場の後方にもスペースを設けて欲しい。
- ・親亡き後など将来に希望が持てず不安。
- ・保育所入所に係る就労条件が障害者の親も健常児と同様なのが厳しい。
- ・肢体不自由や医療的ケアを要する者が利用できる施設が近隣にない。特に、学校卒業後の居場所が少ない。
- ・学校卒業後の就労先を市内につくってほしい。
- ・病院に受診させる際に気後れしてしまう。
- ・サービスを申請してから相談支援ではなく、相談支援にて利用するサービスを相談したい。
- ・発達支援センターでの児童発達支援の内容が不十分。言葉の発達を促す事業が欲しい。
- ・大阪府にある大空小学校のような学校が理想。
- ・窓口で待たされるのが気になる
- ・グループホーム等の福祉施設が不足している。地域住民に理解してもらえない。
- ・短期入所の受け入れ先が少ない。事業の受け皿となる社会福祉法人が少ない。
- ・市内に短期入所と生活介護の施設を作ってほしい。
- ・障害児保育でも通常どおり預かって欲しい。
- ・ショートステイの施設がない。将来的にグループホームで受け入れられるか心配。
- ・支援学校に入学した場合、地域とのつながりが薄い。
- ・サービスの手続きが煩雑。
- ・障害のある人の豊かな生活という視点を持ってほしい。当事者と関係者が協議できる場が欲しい。
- ・近隣にショートステイやグループホームの施設を作ってほしい。
- ・重度医療を市外の医療機関も現物給付にしてほしい。
- ・親亡き後のグループホームが必要。
- ・生活介護等の施設を増やして欲しい。
- ・障害者のおむつ助成を充実させてほしい。思いやり駐車場制度を導入してほしい。
- ・市内に支援学校がほしい
- ・北本駅東口駐車場に障害者用駐車場を確保してほしい
- ・中学校卒業後の進路選択に力を入れて欲しい
- ・対人関係をサポートする制度が欲しい。明るい未来が見えない。
- ・子どもにとって必要な支援が受けられていない。
- ・病院によって障害児の受診対応が悪い。高校卒業後の行き先がない。
- ・障害に対しての理解が足りない。
- ・利用料の負担上限月額を下げたい。

ふくし 福祉についてのおたずね

◎ 調査ご協力のお願い ◎

みなさまには、日ごろから本市の行政運営にご協力とご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、障がいのある方々の福祉をよりいっそう充実させるため、「北本市第五期障害福祉計画・第一期障害児福祉計画」の策定に取り組んでおります。

つきましては、障害児通所支援等を利用する障がい児の保護者の皆様から、ご意見やご要望などをお聞かせ願いたく、このアンケートを行うことにしました。

このアンケートにはお名前を書く必要はありません。みなさまからのご回答は、コンピュータにより、統計的に処理し、秘密の保護には細心の注意を払い、個人ごとの公表はしませんので、ご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解のうえ、率直なご意見、ご要望などをお聞かせくださいますようお願いいたします。

平成29年8月

北本市長 現王園 孝昭

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、

8月21日（月）までにご返送くださるようお願いいたします。

【問い合わせ先】 北本市福祉部障がい福祉課

〒364-8633 北本市本町1-111

電話 048-594-5535

FAX 048-593-2862



◎ ご記入にあたってのお願い ◎

- このアンケートおよび返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
- おこたえは、平成29年8月1日現在の状況を記入してください。
- おこたえは、あてはまる項目の番号に○をつけていただくものです。なお、「その他」を選ばれる場合には、()の中にその具体的な内容も記入してください。
- おこたえは、「1つだけ」を選んでいただくものと、「いくつでも」を選んでいただくものがあります。
- 質問によっては、ある条件にあてはまる方だけにおこたえをお願いするものがありますので、説明にしたがっておこたえください。
- おこたえになりたくない質問については、無理におこたえになる必要はありません。

このアンケートは、封筒のあて名の障がいを持つお子さんについて、記入していただくものです。
保護者の方がお答えください。

●●●●●●●●●● はじめに、この用紙の記入者についてお聞きます ●●●●●●●●●●

問1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

1 母	2 父
3 両親以外の家族	
4 その他の方	

●●●●●●●●●● 障がいを持つお子さんの性別・年齢などについてお聞きます ●●●●●●●●●●

問2 お子さんの性別と年齢（8月1日現在）をおこたえください。（○は1つ）

1 男性	2 女性	
------	------	--

歳

問3 お子さんとはどなたとつしよに暮らしていますか。（○はいくつでも）

1 おとうさん、おかあさん	4 その他の親せき
2 おじいさん、おばあさん	5 その他（ ）
3 きょうだい・しまい	

●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●

かいじょ えんじょ じょうきよう き
介助・援助の状況についてお聞きします

とい こ おも かいじょ えんじょ
問7 ふだん、お子さんを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

1 おとうさん、おかあさん	5 近所の人、友人・知人
2 おじいさん、おばあさん	6 ホームヘルパーなどの在宅サービス事業者
3 きょうだい・しまい	7 その他 ()
4 その他の親せき	8 介助・援助している人はいない(ひつようない)

●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●

がいしゅつ じょうきよう き
外出の状況などについてお聞きします

とい こ がいしゅつ つうえん つうがく か もの にちじよう きんぽ ふく
問8 お子さんは、どのくらい外出しますか。通園、通学、買い物、日常の散歩など、すべてを含めておこたえください。(○は1つ)

1 週に5日以上	3 週に1〜2日	5 ほとんど外出しない
2 週に3〜4日	4 月に2〜3日	6 その他 ()

とい こ がいしゅつ こま
問9 お子さんが外出するときに困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1 付き添ってくれる人がいない	8 車を駐車するところがない
2 他人との会話がむずかしい	9 気軽に利用できる移送手段が少ない
3 他人の視線が気になる	(福祉車両、福祉タクシーなど)
4 必要なときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない	10 電車やバスなどの交通機関を利用しづらい
5 歩道が狭く、道路に段差が多い	11 障がい者用のトイレが少ない
6 道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きづらい	12 その他 ()
7 建物などに階段が多く、利用しづらい	13 とくに困っていることはない

とい こ ねん あいだ つぎ かつどう
問10 お子さんは、この1年くらいの間に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)

1 スポーツやレクリエーション	6 講座や講演会などへの参加
2 旅行	7 地域の行事やお祭り
3 買い物	8 その他 ()
4 ボランティア活動	9 とくになにもしていない
5 趣味などのサークル活動	

問11 これから、どのような活動をして欲しいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 スポーツやレクリエーション | 6 講座や講演会などへの参加 |
| 2 旅行 | 7 地域の行事やお祭り |
| 3 買い物 | 8 その他 () |
| 4 ボランティア活動 | 9 とくに活動はしたくない |
| 5 趣味などのサークル活動 | |

問12 問11のような活動をするためには、どのような条件が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 活動についての情報が提供されること | 6 適切な指導者がいること |
| 2 いっしょに行く仲間がいること | 7 障がいのある人に配慮した施設や設備があること |
| 3 活動する場所が近くにあること | 8 介助者・援助者がいること |
| 4 外出のための手段が確保されていること | 9 その他 () |
| 5 魅力的な内容であること | 10 とくにない |

●●●●●●●●●●●● ● 差別などについてお聞きます ●●●●●●●●●●●●●●●●

問22 障がいがあることで、差別や人権侵害を受けていると感じることはありますか。(○は1つ)

1 ほとんどない	3 いつも感じる
2 たまに感じる	4 わからない

問23 具体的には、どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じますか。(自由記入)

問24 成年後見制度とは、知的障がいや精神障がいなどの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

1 内容まで知っている	2 名前だけ知っている	3 知らない
-------------	-------------	--------

問25 将来、お子さんに対して、成年後見制度を活用したいと思いますか。(○は1つ)

1 すでに活用している	3 活用したいとは思わない
2 いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい	4 わからない

最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。（自由記入）

<hr/> <hr/> <hr/>

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、8月21日（月）までにご投函ください。